

平成 23 年 6 月 23 日

ボランティアのみなさんへ

国際交流センター

外国人留学生の「バディ (buddy)」の募集について

国際交流センターのボランティアにご登録いただきありがとうございます。

従来、ボランティアの皆さんには、留学生懇親会を始め留学生オリエンテーションやバス旅行などのお手伝いをいただいております。しかし、こうした定例の行事以外では年間を通じた明確な役割もない場合も多く、せっかく登録いただいたのにすることがなかった、というご意見もいただいております。

一方、外国人留学生からは日本人と仲良くなりたい、授業などでは聞けない日本語や会話について気軽に話せる日本人学生がいてくれたらな、という声も聞いております。

そこで、双方の思いを結びつけて、このたび外国人留学生の「バディ (buddy)」を導入することにしました。海外留学経験がある方はバディの制度をご存知かもしれませんが、不慣れな異国での生活サポートを日本人学生としてできる範囲でのお手伝いをさせていただき、まさしくボランティアの趣旨に合致するような制度となります。これを機会にバディ及びバディ以外の日本人学生ボランティアの役割を明確にした上で、年間を通じて日本人と外国人学生とが積極的に交流できるようにしたいと考えております。これによって、日本人学生のボランティア活動が活性化し、外国人学生との交流を通じて、日本人学生がこれまで以上に刺激を受けると同時に、外国人学生の生活がより充実したものになれば嬉しく思います。

つきましては、ボランティア登録の皆さんのうち、バディをご希望される方は、Gポートのアンケート機能によりご回答をいただきますようお願いいたします。なお、本学の留学生はほとんどが中国・韓国などのアジア圏からの留学生となります。その前提で誰をどの国出身の学生とマッチングさせるかについては、センターに一任させていただきますので、これらについて予めご了承いただける方を応募条件といたします。

記

【バディのボランティア内容】(基本的には1名の留学生に対し、1名の日本人学生をバディとする)

(1) 留学生のために、日本の生活・習慣などの相談にのったり、授業や研究以外の一般的な日本語の文章を確認したり、日本語の会話の相手になったり、あるいは日本人の友人作りをサポートしたりするなどの支援を行うものとする。

(2) 履修届等記入の手伝い(4月・9月:私費・協定・国費共通)

(3) 短期ホストファミリー(年間通じて:私費・協定・国費共通。なお、協定留学生の成田到着が夜間の場合には、この制度を活用し、例えば、千葉在住のバディの自宅に1泊させた上で、バディが留学生を翌日、都内の留学生用マンションに案内することなど)

- (4) 協定留学生到着日の出迎え（4月・9月：協定学生担当バディのみ）
- (5) その他、外国人留学生と本センターの仲介的なお手伝い

【バディ制度の運用】

(1) 私費外国人留学生に対し、毎年4月にGポートを通じ日本人バディの希望者を募る。なお、協定留学生及び国費留学生については、日本語の語学力の乏しさや日本での生活経験の浅さなどにかんがみて、特に不要であるとの意思表示がないかぎり、その全員に、日本人バディをつけることとする。

(2) 国際交流センターボランティア登録者全員に対し、4月及び9月（私費留学生向け）1月及び7月（協定留学生向け）に、バディになることを希望する学生を募る。

(3) バディの人数が希望する外国人学生の人数を超えた場合には、性別・所属学科・年齢・海外滞在歴・語学能力・趣味などを考慮して、本センターがマッチングを行う。外国人の人数を超えない場合でも、性別・所属学科など上記の諸条件を一定程度考慮して、本センターが組み合わせを決定する。

(4) マッチングの終了後、外国人学生と日本人バディの顔合わせを兼ねて、本センターが説明会を開催する。その際には、バディ制度は、あくまで大学内で外国人学生の生活をサポートすることに主眼が置かれており、また、無償のボランティアであるため、外国人学生の生活のあらゆる面を完全にサポートするものではないことについて周知する。また、生じうる問題について具体例を提示して、何かトラブルが生じた場合には、本センターや関連部署に直ちに相談し、あるいは問題の解決を委ねるように、あらかじめ指導する。

(5) 年度末にGポートを通じて日本人バディからは、結果として、どのようなサポートを行うことができたか、また、外国人学生からは、バディ制度が、どのように役立ったかなどについてアンケートを取り、次年度に向けて改善すべき点を把握する。

【バディ及びバディ以外の日本人学生ボランティアの活動内容】

- (1) 懇親会の企画運営補助（5月・12月）
- (2) 伝統芸能鑑賞の運営補助
- (3) 留学フェア・留学クラブの運営補助や留学体験に関する説明

そのほか、学習院大学の国際交流が活性化するような学生団体があれば、それらの団体と連携したり、留学経験者としての観点などから国際交流センター業務に協力してもらえるものがあれば積極的に関わっていただく。

【備考】

バディをはじめとするボランティア活動は、原則として無償で行うものとする。ただし、協定留学生の出迎えなど実費が伴うものに関しては、センターの予算で支出する。

以上